

PGS/PGD を学ぶ会 開催予告案内

着床前スクリーニング (PGS: pre-implantation genetic screening)

着床前診断 (PGD: pre-implantation genetic diagnosis)

最近では PGS/PGD の話題を多く目にするようになりました。特に PGS はアメリカをはじめ国外では現在盛んに実施されるようになってきているので、日本でも PGS/PGD の話題は避けて通れなくなってきています。この技術は、社会的コンセンサスを十分に考慮した上で導入しなければならない事は言うまでもありません。しかし、ART に従事する立場としては、PGS/PGD を今直ぐに導入しないにしても、基礎的知識を整理しておかなければならない時期がきていると思います。

本技術は胚の細胞の一部を無菌的に採取して、DNA を抽出増幅後、特殊な機器材を使用して遺伝子や染色体を解析しなければなりません。近い将来は、細胞採取やデータ集積などにエンブリオロジストが関わることになると思われれます。解析結果・臨床応用は医師が責任を持つにしても、エンブリオロジストも高度な基礎知識が必要であると考えています。

そこで、やがて来るであろう時代に備えるため、PGS/PGD に関する細胞採取の実技と講演を兼ねた勉強会を計画しています (詳細は追ってご案内いたします)。

—研修、講演の予定内容—

研修日時： 2015 年 9 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)

会場：群馬パース大学 (群馬県高崎市)

研修内容：マウス胚盤胞からの細胞採取 (biopsy) 実技

講演 I: 「エンブリオロジストとして最低限必要な DNA・遺伝子の基礎的知識」

講師 安部 由美子 先生 (群馬大学大学院 保健学研究科)

講演 II: 「世界の流れから見た我が国の ART 治療における PGS の現状」

講師 末岡 浩 先生 (慶応義塾大学医学部 産科婦人科学教室)

講演 III: 「Assay of array CGH」

講師 Dr. Pere Colls, Ph.D. (Reprogenetics, Lab director)

懇親交流会： 2015 年 9 月 5 日 (土) 夜

(後援：群馬パース大学、日本リプロジェネティクス株)